

# 和をもって

第30号

発行  
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339  
TEL0772-27-0018  
<http://www.nariaiji.jp/>

## 観音さまについて

成相寺のご本尊様は「聖観世音菩薩」といまして、私たちがよく言うところの「かんのんさま」です。

「かんのんさま」は昔から我々の生活の中に馴染みがあり、その性格から多くの人の信仰を集めてこられました。

この機会に「かんのんさま」をより身近に感じて頂けたら幸に思います。

「かんのんさま」の正式名は「観世音菩薩」または、「観自在菩薩」といいます。サンスクリット語で「アヴァローキテー

シユヴァラ」というお名前です、それを中国の偉いお坊さんが漢字に訳し、日本に伝わってきて今我々が呼ぶ「かんの

なみのおと

まつのひびきさまもなみのおと



かざり  
わす  
あまのはしだて

んさま」となっているわけですね。

そもそもこの菩薩とはなにかといいますが、「菩提薩埵の略で、仏様のランクを表しております。

ランクの上から「如来」「菩薩」「明王」「天」となっております。

何のランキングかといいますが、「どれくらい悟っているか」ランキングになります。

「如来」は、大日如来や阿弥陀如来、釈迦如来などがおられます。

完璧にこれ以上無く悟っておられるのが「如来」です。

怒ったり、何かに執着することがないので、仏像等でも大変に穏やかなお顔をされております。身につけておられるの

も、お袈裟だけで見た見は一番質素に見えますね。

そしてナンバー2が「菩薩」です。

「かんのんさま」はここに属されておられますね。

「菩薩」も悟りを開いておられるのですが、「まだやらねばならないことがある」という理

由でこちらの世界におられる仏様です。

なのでお顔はとても優しい表情なのですが、「如来」とは違い、アクセサリーなんかを付けておられます。おしゃれさ

ですのでね。そして「菩薩」のやらねばならないことというのが、衆生を救うこと。なんで

衆生とはこの世に生きとし生けるもの全て。「これらが悟りの境地に至るまで

がんばるんや」とお誓いを立てられた仏様を「菩薩」といいます。

そして「明王」「天」と続きます。

これらの仏様達は、大概怖い顔をされております。そして我々の煩惱や教えに従わない心をやっつけるために武器などを持っていたりします。

密教においての目指すべきところが「菩薩」になることです。

「菩薩」になるとはどういうことかといいますが、修行によって真理を得るだけでは無く、真理にまだたどり着けてない人を手伝わなければならないということです。

先ほど触れたとおり、「菩薩」には大

きな目標があります。

全ての生き物が悟りの境地へ至り、誰一人として残らないようにするという目標です。

その為に「かんのんさま」は、あらゆる形に変えることができ、困っている人の前に現れ助けようとしています。

それは「救うべき困っている人達」それぞれに適した姿形です。

例えば、あるところにお腹を空かし泣いているカバの男の子がいたとしましょう。

するとそこに必ず現れるのが、あんな顔をしたヒーローです。

泣いているカバの男の子には、あんな顔のヒーローが一番適した姿形といえます。

そのヒーローは惜しげも無く自らのお顔をその子に与え、救いの手を差し伸べます。

その男の子からすれば、ヒーローは姿を変えた「かんのんさま」に違いありませんね。

あるところには悪い菌そのもののような悪い奴が、カバの男の子をいじめていたとしましょう。するとそこにも必ずあんな顔のヒーローが助けに来てくれます。

意地悪なことをしてはいけないよというメッセージを込めて、その悪い奴を空の彼方まで殴り飛ばします。

しかしそのヒーローは、悪い奴が完全

に消滅すること望んではいけないのです。その証拠にまた明るる日には悪さを働きに來ますよね。

消滅では無く、改心し仲間になることを望んでいるのです。

だからばい菌そのもののような悪い奴からしても、本人は気付いてないでしょうが、そのあんパンの顔のヒーローは姿を変えた「観音様」といえますね。

自分と他人を区別することなく助けようとし、悪い奴でも良いところを見出し、包括しようとする慈悲深いその行動はまさしく「菩薩」であるといえます。

つまり我々が目指すべきあり方は何も難しくないので、あんパンの顔のヒーローをお手本とすればいいのですから。

しかしいきなり人を救えと言われても難しいのもわかります。

けれども目指す姿やあり方を自覚しているだけでもそれは大きな違いです。

そういった心意気を持って生きていくことが肝要であると思います。

「観音様」の教えてくださることは、まさに今を生きる我々に向けておられるのですね。

あんパンの顔のヒーローのように、観音様のように、周りの人への微笑みを持つて生きていくことがより良く生きることへの第一歩ではないでしょうか。

合掌  
副住職 龍眞

# 山内順礼

## 朱印帳と納経帳の違いについて

今回は朱印帳と納経帳の違いについて紹介させていただきま

す。朱印集めは数年前からブームとなり、寺社の朱印の他に、城印、また鉄印（鉄道）等を集める人も増えてきているそうです。

朱印は一般的に朱印帳とよばれる帳面に書いてもらうことが多く、通常、中が全て無地になっており一冊に様々な朱印を納めることが出来ます。

それに対し納経帳は、お寺でお経（読経や写経）を奉納した証として朱印をいただくもので、四国八十八ヶ所霊場や、西国三十三所霊場など、それぞれ専用に一冊となっているのが特徴です。また、霊場の一番札所から順になつており、見開きの片側に寺院名や御詠

歌、由緒などが書かれ、もう片側の無地の部分に朱印をいただきます。

本来「納経帳」とは、お経を納めた証に朱印（宝印）をいただくための帳面で、単なる参拝記念ではありません。また、札所では朱印をいただく場所は「納経所」と呼ばれ、これは本来お経（写経）を納めるところとであります。

お参りの際のマナーとして、朱印は参拝した証ですので原則、ご本尊様に参拝した後にいただきます。また、（寺社によつては例外もあります）

現在、成相寺でも様々な種類の朱印を用意しております。季節限定の朱印もありますので、お参りの機会がありましたら是非お求めください。



季節限定の朱印



西国二十八番の朱印



本尊聖観音の朱印